

先生各位

検査実施料算定留意事項訂正のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、平成27年2月19日付「保医発0219第1号」厚生労働省保険局医療課長通知にて、算定留意事項が一部追記され、検体検査判断料が訂正されたのでご案内申し上げます。

謹白

記

■ 検体検査判断料が訂正された検査項目

平成26年12月26日付「保医発1226第1号」の訂正

検査項目名	実施料	実施料区分	判断料区分
Mac-2結合蛋白(M2BP) 糖鎖修飾異性体	200点	「D215-2」 肝硬度測定	<u>生化学 I</u> 144点

※下線部が追加され、検体検査判断料が訂正されました。

正	誤
ア Mac-2結合蛋白(M2BP)糖鎖修飾異性体は、区分番号「D215-2」肝硬度測定の所定点数に準じて算定する。なお、 <u>判断料については、区分番号「D026」検体検査判断料「3」の生化学的検査(I)判断料を算定する。</u> イ (略) ウ (略)	ア Mac-2結合蛋白(M2BP)糖鎖修飾異性体は、区分番号「D215-2」肝硬度測定の所定点数に準じて算定する。 イ (略) ウ (略)

平成27年1月30日付「保医発0130第1号」の訂正

検査項目名	実施料	実施料区分	判断料区分
BRAF V600	6,520点	「N005-2」 ALK融合遺伝子 標本作製	<u>尿便</u> 34点

※下線部が追加され、検体検査判断料が訂正されました。

正	誤
ア BRAF V600は、区分番号「N005-2」ALK融合遺伝子標本作製の所定点数に準じて算定する。なお、 <u>判断料については、病理診断料・判断料は算定せず、区分番号「D026」検体検査判断料の「1」尿・糞便等検査判断料を算定する。</u> イ (略)	ア BRAF V600は、区分番号「N005-2」ALK融合遺伝子標本作製の所定点数に準じて算定する。 イ (略)

以上